

## 平成24年度 第4回 CCC 電気通信工学グループ運営委員会議事録

I. 日時： 平成24年9月29日（土）午後1時半から午後4時半まで

II. 場所： 公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者： 玉野委員、岳委員、小林委員  
井端事務局長、森下主幹、野本職員

### IV. 議事概要

#### 1. 到達目標の解説について

- ・ 「電気通信工学教育における学士力の考察」について4つの到達目標を再度十分に理解した上で、学士力の考察の解説文章を議論して詳細に検討を行った。
- ・ 到達目標1は、未来への社会を支え新しい技術やシステムを切り拓く技術者としていたが、これからの生活や産業活動に有用な新しい知の開拓にした。
- ・ 関連技術の部分は電気・通信・電子工学に関する基礎知識として、応用できるようにしていたが、問題発見及び解決に必要な基礎知識の修得を目指すことにした。
- ・ 到達目標2は、国内外の諸課題を科学技術の諸課題とし、設計やシミュレーションの部分はまとめて電気通信関連分野の要素技術やツールの利用方法とした。
- ・ 事例研究や情報収集によることを、PBLで課題設定、設計から試作まで総合的な技術力の修得に整理することにした。
- ・ 到達目標3は、電気通信技術の高度化と自然環境や社会との調和としていたが、電気・通信・電子工学の観点から持続可能な社会とした。創造性の豊かな考えを身につけさせるとしたが、電気通信技術の影響、社会的責任との関連の理解にした。
- ・ 到達目標4は、進展著しく急速にグローバル化が進行、社会基盤の記述を入れていたが省略することにし、電気通信技術の可能性と限界にした。課題解決、成果の説明・発信・再評価・改善を検討したが、知識の体系化・統合化としてまとめた。

#### 2. 教育改善モデル（その1）の授業の仕組みに関する概念図について

- ・ 初年次から基礎科目と併せて知識の体系化を図ることのイメージとして案が提示され、ネットワークを利用した授業の展開・支援について4年間で確実に知識を身に付けることを追加した。学修支援については連携を追加することにした。

#### 3. 教育改善モデル（その2）の授業の仕組みに関する概念図について

- ・ 学生と教員の関わりについて円を共有する形で重なりあわせたイメージにしていたが、それぞれ独立した円にして、プラットフォームからの支援、ファシリテータからの支援について関連を整理することにした。

### V. 次回の開催日程

- ・ 図の修正をしたものをネットで確認し、教育改善モデルに追加することにした。今年度の本委員会は今回が最終の会とした。